

公表

事業所における自己評価総括表

児童発達支援

○事業所名	こども発達未来スタジオippo 三日月教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の年齢層が20～50代と幅広く、さらに専門職が揃っており、一人一人の特性に合わせた専門性のある療育が実施できること。 ・職員同士のコミュニケーションが円滑であり信頼関係が構築されていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職と児童支援員、保育士それぞれの視点で意見を出し合う機会を設けている。それぞれの得意とする内容(調理・絵・ピアノ・工作)を提供する活動を取り入れ還元されている。 ・お客様の特性を踏まえた上で、職員の経験値やスキルに応じた配置を心がけ支援の格差が生じないようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人の課題に合わせた目標を明確にし、目標に対する評価を行い段階的にステップアップできるような支援を計画し実施していく。 ・職員間の価値観や先入観などの差もあるため報連相やミーティングなどを通してアプローチの方法について共有・検討をしていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚支援が充実していること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別スケジュールの導入により日々のスケジュールや時間を視覚化し、一人で確認して次の行動にうつることができるよう工夫している。 ・おもちゃをしまう箱に、入っている中身の写真を貼り、一人でも写真のように片付けを行えるようにしている。 ・皆が見える場所に「声ののさし」「お友達や先生との距離感」の視覚支援を貼り、いつでも確認ができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在用意している視覚支援でも理解が難しい利用者に向けて、より分かりやすい視覚支援の作成を進めていきたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・室内だけでなく、屋外での活動も多く取り入れ、様々なことを経験できるようにしている。 ・常に子供たちが楽しいと思うことを活動に入れたり、やってみたいと思っていることが実行できているところ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に長期休暇時にお出かけやお買い物などの活動を取り入れ、公共でのマナーを知ったりお金の払い方などを学んだり、様々な経験ができるように取り組んでいる ・子どもたちがチャレンジできる環境を整え、「できた!」の成功体験を積み、自ら意欲的に取り組めるように取り組みのアプローチを職員同士で話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は職員が考えるプログラムに取り組んでもらう形が多いので、今後は子どもたちが主体的に活動を考え取り組めるような機会をつくっていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流機会が不足していること 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保育所や幼稚園等との交流や地域の子どもと活動する機会」を活動として提供できていません。早期療育のため、療育を経験したほとんどの方が保育所や幼稚園に通園されている。 ・併行通園に向けての療育という位置付けとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の感染症流行状況や教室での子どもたちの様子など丁寧に観察し、一度に集まる人数や時間をこまかく設定し、慎重に企画をしていきたいと考えている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流機会が出来ていないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様から個々での相談は随時対応しているが今現在保護者同士の交流は実施していない。 ・感染症の流行などを見ると、一堂に集まって過ごすことにリスクを感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会の活動の支援、保護者会の開催兄弟向けイベントの開催など保護者の方の要望などを伺いながら、必要とされている交流の方法などを検討していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド等、併設する屋外の施設がないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発散する時間として屋外での活動を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の公園や敷地内の駐車場で活動している。また屋内でも安全に配慮しながら工夫して全身運動をしている。